

3月14日(水) 本年度第33回(通算2625回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル  
『識字率について』 担当/国際奉仕委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

- ・三木 克敏君 (釧路西RC)

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数64名 免除9名 出席計算に用いた会員数64名】  
本日の出席率 100% (3月10日 IMを含む)

☆ニコニコ献金 (今年度累計 572,000円)

- ・三木先生宜しくお祈りします 能登信孝君、石井東洋彦君
- ・IM大変ご苦労様でした。三木先生今日の講演宜しくお祈りします 田中和紀君
- ・ご無沙汰しています 徳山淳一君

☆会長挨拶  
《能登会長》



皆さんこんにちは。3月10日(土)に釧路ロータリークラブ主催のIMに多くの会員と共に出席してきました。また3月11日(日)に、まもなく学園の理事長をされている松原会員に、学園の卒園式にまねかれて田中幹事と共に行って来ました。在園生と共に、釧路市長はじめ多くの関係者が、卒園生に社会人としての門出を祝っておりました。理事長の挨拶に始まり、市長初め卒園生が通っていた高校の校長先生など6名の祝辞があり、最後に卒園生3名各自のお礼の言葉がありました。卒園生によると、2歳から3歳のときに弟や妹と共に親の都合で入園され、まもなく学園を卒園されるまでの話を皆さんされました。母親に甘えたいときにあまえられず、反抗した話などされ、私ばかりでなく出席したほとんどの人が、目頭をおさえながら聞いていました。在園生は近くの小、中学校に通っていますので友達ができ、親のこと、家のことなど聞かれたらどの様に答えるだろうか、いじめられていないか、などいろいろなことを考えさせられました。いままでは学園の先生が非行に走らないように守っていましたが、これから社会に出ていろいろな誘惑に耐えられるのか心配にもなりました。

また学園の職員は、子供たちが急に話をしなくなったり、くっつかかったり、泣いたり、夜中に起こされたり、24時間面倒をみるわけですから、大変な仕事をされていることもわかりました。

最近、子供の虐待の報道が多くされています。虐待する様な親にならない教育しなければ、まもなく学園の様な施設の子供たち増えるばかりになります。

今日は、教育詳しい三木さんに講演していただく例会になっております。よろしくお願いいたします。

☆幹事報告  
《田中幹事》



- ①. 3月10日(土) 7分区のIMが開催されました。  
当クラブからは27名の参加を頂きました。大変ご苦労様でした。  
又、RI第2500地区第7分区の分区事業として、吉田ガバナー補佐が掲げました釧路交響楽団に対する支援の一環として協力会に協力して頂いたロータリアンは7分区で202名、212口で106,000円です。昨日のIMにおいて目録として贈呈しております。尚、当クラブは32名の方の御協力を頂きました。大変ありがとうございました。



釧路の児童・生徒の学力の現状について、お話頂きました。

講師

三木 克敏君（釧路西RC）

講師経歴

- ・昭和63年釧路工業高等専門学校卒業（昭和42年生）
- ・株式会社情熱空間代表取締役
- ・北海道労務サポートオフィス代表（社会保険労務士・行政書士）
- ・釧路教育活性化会議代表
- ・釧路の教育を考える会副会長

提言書「くしろ学力向上提言書2011」

- ・釧路市、釧路市教育委員会、北海道教育委員会釧路局へ提出。（2011.10.13）
- ・丹頂会（釧根地域から選出された道議会議員で構成）へ協力要請。（2011.11.13）

5つの緊急実行課題

- ・北海道教育委員会と連動した目標設定（平成26年度の全国調査までに全国平均以上に）
- ・学力計測と補習
- ・小中連携と中高連携
- ・コミュニティスクール
- ・学力情報の公開

